

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【進捗状況】

中学校区におけるめざす子ども像

肯定的に自己を見つめ、ちがいを認め、将来の夢と希望にむかって主体的に行動できる子

令和7年度 重点目標

- (1) 美しい教育環境を作り、豊かな心を持つ生徒を育成する。
 (2) 生徒が「わかる」「楽しい」と感じる授業を展開し、教員の授業力の向上と生徒の学力の向上を図る。
 (3) 夢をはぐくみ、将来を見据えた進路指導を展開する。
 (4) I C T 機器を活用し生徒の学力向上を図る。
 (5) 保護者・地域から信頼される学校づくりに取り組む。

「確かな学び」の現状

校内アンケートの結果では85%以上の生徒が授業に集中して取り組んでいると答えた。しかし、家庭で計画的に勉強しているという生徒は70%程度にとどまり、保護者のとらえ方は70%に満たない。家庭学習の習慣をつける個別指導や、自ら課題を見つけて取り組むような授業展開が学力向上につながると考えられる。今後も教員の授業力向上に取り組み、授業と家庭学習の両立を基本として、生徒の学力向上を図りたい。また、教科の特性をふまえつつI C T 機器活用を充実させ、生徒が学習効果やメリットを十分感じられるような授業によって、思考力・判断力・表現力を養いたい。

「豊かな心・健やかな体」の現状

堺市学習生活状況調査の結果で学校生活が楽しいと答えた生徒が83%程度、友だとの関係に満足している、あるいは、先生との関係に満足していると答えた生徒がともに91%程度で、現在の落ち着いた学習環境と生徒の理解が概ね一致していると思われる。また、自分はやればできる、あるいは、自分にはよいところがあると答えた生徒がともに昨年よりも増加して80%程度となったが、将来の夢や希望を持っているかという質問への肯定回答は70%を下回り、自身の未来に対してとても現実的であるととらえられる。今後さらに自己肯定感を高めるような教育活動を通して、生徒たちの資質や能力を向上させたい。また、今年度も全学年で体育の授業や体育的行事を充実させ、体力の向上を図る。

大項目	中項目	具体目標 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (~11月)	達成状況(年度末)	
							自己評価	学校関係者評価
学習習慣の定着	授業に前向きに取り組み、帰宅後の学習活動や運動に積極的に取り組み成長をめざす生徒の育成	●授業改善を通して、学習に対する関心・意欲・態度を高める。	関心・意欲・態度に関する各質問への肯定的な回答が全学年平均で85%以上。	堺市学習・生活状況調査 学校教育アンケート結果	12月	○	全学年全学級において、概ね落ち着いた雰囲気の下で授業に取り組んでいる。	
		帰宅後、家庭学習を含め様々な学習機会を活かし、計画的に学力向上に取り組む。	宿題や復習などに取り組んでいるという肯定的な回答が全学年平均で75%以上。	堺市学習・生活状況調査 学校教育アンケート結果	12月	○	教科ごとの差異はあるが、内容や評価等の工夫をしている教科がある。	
確かな学び	学力の向上 自ら学び、学んだことを社会で生かすことのできる幅広い学力と問題解決能力の育成	生徒にとってわかりやすく、生徒たちが積極的主体的に取り組む授業を実践する。	授業がわかりやすいという肯定回答の割合が全学年80%以上	堺市学習・生活状況調査 学校教育アンケート結果	12月	○	教科の特性や履修範囲等の課題はあるが、対話的な学習が増加している。	
		●I C T 機器のメリットを生かし、自分の考えをまとめる、発表するなどの活動を確保する。	パソコンにまとめた自分の考えを話したり、他人と意見交換すると肯定的に答える生徒が70%以上	堺市学習・生活状況調査 学校教育アンケート結果	12月	◎	多くの教科において、I C T 機器の活用頻度が高まっている。	
		教員のI C T 機器活用比率と授業力の向上	全教職員の公開授業とI C T 活用研修の実施	校内研修実施状況	12月	○	インフルエンサーを招聘し、授業改善への意見交換を実施。	
豊かな心・健やかな体	自分のよさや可能性を知り、相手の立場を思いやり、大切にできる豊かな心、秩序を重んじる規範意識を持った生徒の育成	相手の立場を思いやり、誰にでもきちんとあいさつできる生徒を育成する。	あいさつしている、思いやりを持ち行動しているという肯定回答が全学年80%以上	堺市学習・生活状況調査 学校教育アンケート結果	12月	◎	朝は3つの門、下校時は正門において登校指導。意識できる生徒は増えている。	
		●道徳授業を中心に据え、組織的・計画的に道徳教育を推進す、人間力向上に努める。	きまりや約束を守り、困っている人を助ける意識に対する肯定回答が全学年90%以上。	堺市学習・生活状況調査 道徳授業実施状況	12月	◎	学年職員が全クラスを順番で担当し、授業の質を高め、意識向上に努めている。	
		いじめ防止対策基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に取り組む。	困っている人を助ける、相手を思いやる気持ちを持つなど、いじめのない学校作りに取り組む生徒の割合が全学年85%以上	堺市学習・生活状況調査 学校教育アンケート結果 いじめアンケート	各学期	◎	相談しやすい人間関係作りを進め、教育相談等の機会を設定し、生徒の困りごとに迅速に対応できる体制で臨んでいる。	
体力向上	・集団行動を学び、規律正しく行動 ・安全な活動を重点目標とする ・全員がバランスよく授業に取り組み 平均的な運動能力の向上を図る ・体育的行事を企画立案し、運動の喜びや楽しさを全員が体験する	・運動能力向上を意識した体育授業を推進する。 ・体育ノートで記録をとり成長を確認する。 ・スポーツ行事の感想やアンケートをとり、次回の行事に活かす。	・過去に実施した新体力テストの結果と比較し、生徒の基礎体力の推移をみる。 ・体育授業の単元ごとにノートを確認し、生徒の状況を確認する。	堺市学習・生活状況調査 学校教育アンケート結果 新体力テスト結果 ノートチェック	通年	○	いずれの単元も基礎的な動きから段階を追って授業を進め、回数を追うごとに目に見える上達があり、達成感を感じられる授業内容としている。	
		●体育的行事を積極的に実施し、仲間たちと楽しく身体を動かすことの喜びを体験させる。	体育授業を通して行事を活性化し、感想文から満足度を推し量る	学校教育アンケート結果 感想文等	行事後	◎	体育大会は競技者、準備者、応援者のすべてが充実した活動となっていた。	
地域協働	学校情報の積極的な発信を行うとともに、地域とともに歩む学校づくりを進める。	★学校ホームページ、学校だより、学年だより、保健だより、学級通信などを通し、教育活動の現状と成果の発信に努める。	学校ホームページや通信類などを通して、連絡事項や学校の様子をわかりやすく伝えているという肯定回答が全学年90%以上	学校教育アンケート結果	年度末	◎	Webページは毎日更新を心掛け、通信類も途切れずに発行できている。個人情報の守秘範囲が課題である。	
		地域行事に積極的に参加し、保護者・地域の人々との交流を図り、信頼関係を築く。	地域の行事や定例会に参加し、学校と地域の相互理解を深め、情報交換に努める	参加実績	年度末	◎	PTA行事や地域行事には欠かさず参加し、関係性を深めている。	

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)